

2017年度第1回JVA加盟団体代表委員総会が開催される

【専務理事 竹淵光雄】

2017年6月29日(木)、東京都新宿区ベルサール新宿グランドコンファレンスセンタールームA・Bに於いて、2017年度第1回JVA加盟団体代表委員総会が開催されました。



席上、今回の評議員会の結果報告がなされ、林会長代行より木村会長が選任されなかった経緯が報告された後、新役員体制の紹介並びにバレーボール界の取り組みについて、2016年度事業報告並びに決算報告、2050年構想の進捗状況について報告がなされました。

その他の中で、全日本チームの活動報告、スポーツ議連発足について、東京2020準備室からの連絡、9ブロック理事長の紹介、MRSの進捗状況、2019年茨城国体のビーチバレーの少年種目への変更についての報告がなされた後、意見交換の場では、

今回評議員会で3期連続の会長解任について内容の説明責任に関する質問がありました。

林会長代行からは、個々の〇×方式であり、質問対象が不明であるため困難であるが評議員会には代表委員総会の意見は伝えるとの回答がありました。また加盟団体からの理事も不在となり、各県とのコミュニケーションの語り方への不安、会長不在を一日も早く解消を等の意見要望が多く出されました。更には、MRSの変更に伴う会費の値上げともとれるような説明について、再検討要望も出されました。理事会・評議員会等で早急に今後に向けての方向付けを検討したい旨の謝罪ともとれる回答がありました。

総会終了後、本年度JVA功労者Ⅰの1名、JVA功労者Ⅱの17名への表彰式・祝賀会が開催されました。

第67回中部日本6人制バレーボール総合男女選手権大会

県勢が上位独占！ VC長野トライデンツが長野☆GaRonsを決勝で下す

【県協会総務副委員長 木下久資】

7月15日(土)～17日(月)、福井県あわら市に於いて第67回中部日本6人制バレーボール総合男女選手権大会が開催されました。昨年、VC長野トライデンツ(以下「VC長野」)が準優勝したことでシード権があり、本県からは成年男子代表としてVC長野と長野☆GaRons(以下「ガロンズ」)の2チームが出場しました。両チーム共、課題を消化しながら1日目を勝ち上がり、2日目の準決勝では、VC長野が福井県代表の福井クラブ(国体強化チーム)の攻撃力を完全に遮断して先ず決勝進出を決め、ガロンズも現プレミアリーグのジェイテクトOBで作る愛知県代表：伊勢茶の個人技を封じて見事に決勝に進出。

決勝戦は福井県で行われる信州ダービーとなりました。

その決勝戦では、格下と目されていたガロンズが第1セットを先取。続くセットも終盤迄リードしましたが、ここから目覚めたVC長野が逆転。その流れをファイナルセットにも継続したVC長野が、大逆転で信州ダービーを制しました。

尚、今回プレミアリーグの愛知県チームの不参加もあり、長野県勢は2チームが来年のシード権を獲得。来年度の大会は、長野県から3チームが本戦出場することとなります。この2チームに続くチームの出現を期待したいと思います。

以下、両チームの代表者にコメントを頂きましたので掲載致します。

【一般社団法人 VC 長野クリエイトスポーツ代表理事 笹川星哉】

今回大会は2年ぶりの優勝を果たすと共に、リーグ優勝に向け様々なパターンやメンバーで挑んで結果を出すという大事な大会と位置付けて臨みました。



1日目はサーブ&ブロックが機能し、良いスタートが切れました。2日目の準決勝・決勝は全体的に選手の動きが鈍く、常に相手に先行される厳しいゲーム展開でした。追い越せる場面でサーブミスや点数を取り切れないなど、ブレイクポイントが繋がらなかったことはチーム課題となりました。

それでも決勝戦では1セットを落とし、2セット目もなかなかチームが

うまく回らず 15-20 と差を広げられながらも 25-23 で取り返し、3セット目を取りきれたこと、「負けなかった」ことは昨シーズンよりチームが成長しているのかなと感じました。

福井県まで応援に駆けつけてくださったサポーターの皆様「優勝」という結果をお見せできて良かったと思います。本当に応援ありがとうございました！ これからもっと意識を高め強いVC長野をお見せできるよう「昇心」致します！

【長野☆GaRons GM 篠崎 寛】

長野ガロンズは初戦、三重県代表のヴィアティン三重と対戦。ヴィアティンは今年度よりVリーグに新規参入する三重県選抜チームです。勢いがありガロンズにとっては初戦が大きな山場となりました。ヴィアティン選手の名前を見ると、大学東海リーグのタレント揃い。しかし、こちらも昨年よりVリーグに参戦している意地もあり、強い気持ちを持って挑みました。昨年のVリーグ終了後から取り組んできた、勝つ試合展開を作り出すことに、選手・スタッフが個々の役割を確実に実施。結果、ストレートで勝利して2回戦進出を果たしました。



2回戦は、新潟県代表の学館OB（新潟教員に勝って進出）。こちら、勢いそのままに勝利し、2日目の準決勝進出を決定しました。1回戦の勝利でチーム内に気の緩みが出るのが心配された試合でしたが、ベテラン勢が気を引き締め、油断することなく試合を出来たことが大会一日目の大きな収穫と言えます。

2日目の準決勝は愛知県代表の伊勢茶と対戦しました。伊勢茶は現プレミアリーグのジェイテクトOBが作るチームで個人技が高いチームです。しかし、若さと勢いを保って決勝に進出することが出来ました。



その決勝戦の相手はVC長野。我々ガロンズとはリーグの格差があり、先に行われた国体予選でもその差は歴然でした。しかし国体予選以降、「勝つバレー」に取り組んできた成果が1セット目に発揮でき、先取しました。2セット目も20-15と先行し、勝利目前というところでしたが、VC長野の底力に押し切られて逆転されると、3セット目はVCペースのまま持って行かれ、逆転負けという結果に終わりました。20点以降のあと5点。5本をどう決めるか、どういう試合展開を作り出すかが、今後のチームの課題となります。明らかに20点以降で個人技術の差が出ており、それは体格に依存するものではなく気持ちに依存するものであり、まだまだ

これから強化する部分は山積みです。リーグ開幕まであと僅かですが、今回の大会の負けを糧に、更なるチーム力の向上と「勝つバレー」へのこだわりを持ち、精進して行きます。

長野県よりお越し頂きました応援団の皆様、協会役員の皆様、本当に有難うございました。引き続き応援、そして御指導のほど宜しくお願い申し上げます。

第38回 北信越国民体育大会 ビーチバレーボール競技

男女とも本国体への出場権を逸す

【ビーチ連盟理事長 三島英徳】

第38回 北信越国民体育大会 ビーチバレーボール競技が、7月8日(土)・9日(日)に福井県若鯉川シーサイドパークビーチバレーコートで開催されました。本国体への出場枠は、男子2県、女子1県のため、試合形式は男子が総当たりのリーグ戦、女子はトーナメント戦で行われました。



男子ペアはふるさと選手の平林康裕(岡谷工→青山学院大→警視庁)と三島のペアで出場しました。3カ月の期間で本大会に挑み、初戦の富山県にはストレート勝ち。しかし石川県・新潟県には共にフルセットで敗退して3位となり、本国体出場を逃してしまいました。攻撃のパターンが少なく、又ブロックとレシーブの関係が機能できなかったのが敗因となりました。

来年は必ず本国体出場を果たすために、1年掛けてチーム作りをして行きたいと思います。

女子ペアは、東京国体の出場経験がある伊藤選手と2015マドンナカップ(女子ジュニア選手権)出場の吉岡選手のペアが出場しました。初戦は新潟県との対戦でした。経験豊富な新潟ペアに1セット目はミスが多く、リズムがつかめませんでした。2セット目は、伊藤の連続サービスエース、吉岡の好レシーブからの切り返しの攻撃で中盤まで新潟県についていきましたが、新潟県の高さのある攻撃とサーズで崩され、0-2で敗退となりました。

公開競技から本国体には継続して出場しておりましたが、今回男女とも本国体の出場権を逃すというとても悔しい結果となってしまいました。

来年度は必ず、本国体の出場権を確保し、更には上位進出ができるよう、ジュニア世代を含め強化していきたいと思えます。



男子は笑話(クラブチーム)が初優勝 女子は長野大学が 2 年連続 3 回目の優勝

【諏訪湖周辺協会理事長 市川敏文】

平成 29 年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 長野県ラウンド岡谷大会が 7 月 2 日（日）に開催されました。各カテゴリーより推薦の男子 8 チーム、女子 8 チーム、計 16 チームが岡谷市総合体育館（スワンドーム・東体育館）に集結。選手入場に始まり、江村恵一大会副会長よりバレーボール競技の趣旨と激励の言葉を受けて、岡谷工業高校の有賀光希主将の選手宣誓となりました。（一般財団法人）長野県バレーボール協会スローガンを紹介し、大会における危機管理体制のご案内とご協力をお願いした後、各コートに分かれて熱戦が展開されましたが、接戦の多い大会となりました。



男子決勝は、上手さとまとまりがあるクラブチームの「笑話」対 2 年生主体の「岡谷工業高等学校」の対戦となりました。高校生は若さで押すものの、ベテランのクラブチームは動じず、押し引きを上手く使って接戦を制し、2：0 で優勝を果たしました。

女子決勝は、「長野大学」と「セイコーエプソン」の対戦となりました。粘りのあるレシーブからライト攻撃で得点を重ねる長野大学に対し、自信のあるセンター攻撃で食らいつくセイコーエプソン。僅かな差となりましたが、長野大学のまとまりが勝り、2：0 で優勝を勝ち取りました。



男女優勝チームは、上位ラウンドにて勝利を目指す事になります。協会関係者の力強い応援をお願い致します。又、出場チームの健闘をお祈り致します。

大会開催に当たり、県協会を始めとする各方面よりのお力添えによって大会が終了出来ましたこと、感謝申し上げます。



男子は駒ヶ根クラブが6年振りに優勝

【うえだ協会理事長 青木高志】

平成 29 年度第 16 回全国社会人東ブロック男女優勝大会長野県予選会が、7 月 9（日）に上田自然運動公園総合体育館において、男子 4 チーム、女子 1 チームが参加して開催されました。

男子決勝戦は、駒ヶ根クラブとオルガン針との対戦で、昨年と同一カードとなりました。

第 1 セットは、中盤まで 15-10 と駒ヶ根クラブがリード。追いつきたいオルガン針は小林のサーブをきっかけに 17-17 としたものの、駒ヶ根クラブ：桐島のサーブで突き放され、21-18 で駒ヶ根クラブが 1 セット目を先取しました。



第 2 セットは序盤、オルガン針がリード。一時は 15-15 と追いつかれていましたが、オルガン針：増田のサーブとアタックが要所々で決まり、今度は 21-17 でオルガン針が制しました。最終第 3 セットは序盤にリードした駒ヶ根クラブが終始リードを守り、21-13 で制して 6 年振りの優勝を遂げました。特に 3 セット目は、オルガン針が決め手に欠けていたのに対し、駒ヶ根クラブはエース：桐島が確実にポイントを重ね、勝利に結びつけました。

女子は佐久総合病院 1 チームのみの参加で、自動的に 3 連覇達成ということになりました。

尚、全国大会は岐阜県大垣市で 11 月 10 日（金）～12 日（日）に開催されます。男子は駒ヶ根クラブとオルガン針が、女子は佐久総合病院が出場します。昨年度の大会においては、男女共に 3 位入賞を果たしていますので、更なる上位入賞を期待したいと思います。

第 16 回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会 及び

2017 マドンナカップ in 伊予市ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会 長野県予選会

男子は東海大諏訪高校B 女子は伊那北高校2年生ペアが全国大会へ

【ビーチ連盟理事長 三島英徳】

「第 16 回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会」及び「2017 マドンナカップ in 伊予市ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会」の長野県予選会が、7 月 2 日（日）に駒ヶ根市森と水のアウトドア体験広場ビーチバレーコートで開催されました。参加チームは、男子が 4 高校 7 チーム、女子が 1 高校 2 チームでした。



男子決勝戦は東海大諏訪 B（渡邊・渡邊）対東海大諏訪 A（望月・関島）の対戦となりました。東海大諏訪 B は高さが無い分、機動力を生かした早いバレーを展開。一方の東海大諏訪 A は、1 年生ながら高さ生かした関島を 3 年生の望月がコントロールするバレーという対戦でした。序盤はシーソーゲームの展開になりましたが、20 点以降、東海大諏訪 B の正確なパス、スパイクが機能して勝利。この渡邊・渡邊ペアについては、全国大会でも上位進出が見込める力を持っており、プレーの精度を上げることが全国大会に向けての課題です。

一方の女子は、初出場の伊那北高校の2年生ペア（井上・唐澤）と1年生ペア（唐木・赤羽）の対戦となりました。終始2年生ペアがミスのないプレーでゲームを支配。28対9で勝利しました。井上・唐澤ペアは、全国大会に向けて、堅実な守りに加え、攻撃力とサーブ力を強化し、全国大会での上位進出を期待したいと思います。



ビーチバレーは、平成31年度茨城国体より正式種目（少年）となります。本国体出場に向けて、今後ジュニア世代の底辺拡大と技術の向上が必要と考えております。

平成29年度 第56回長野県中学校総合体育大会夏季大会(兼 第47回全日本中学校選手権大会長野県予選会)

男子は小布施中が5年振りに優勝 女子は裾花中が11連覇を飾る

【中体連副委員長 安藤利長・専門委員 吉越利充】

各地区1位が順当に勝ち上がった男子の決勝は、5年振り6回目の優勝を目指す小布施町立小布施中学校（北信地区1位）と初優勝を目指す立科町立立科中学校（東信地区1位）の顔合わせ。冬の新人戦（エプソン杯）と同じ対戦になりました。



小布施中は、序盤から多彩な攻撃を仕掛ける立科中に対し、サーブで崩して相手の攻撃を単調にし、チャンスボールを確実に得点に結びつける展開に持ち込みました。一方の立科中はミドル：小林の速攻やエース：山浦のブロックポイントで応戦しましたが、第1セットは終盤までミスの少なかった小布施中が25-21で先取しました。

2セット目、立科中が執拗なブロックで小布施中の攻撃をはね返すも、小布施中はキャプテン：増田を中心とした安定感のあるレシーブから攻撃を仕掛け、両エース：根岸・吉沢を軸に得点を重ねて25-16でこのセットも奪い、見事6回目の優勝を飾りました。

第27回大会に小布施中の選手として優勝している川上康樹監督は「全中を目指して様々な準備をしてきた。大型チームではないので、高いブロックに対することや、自分達がレシーブで乱れた時にどうすれば得点に結びつくかを考えてきた。準備したことが結果に繋がった。選手の努力を称えたい。又、母校で指導者としても優勝を味わえたことは本当に嬉しい。」と優勝への喜びを述べていました。

尚、北信越大会順位決定戦は、セットカウント1-1で迎えた第3セット、南信1位でオール2年生でチームを構成する中川村立中川中学校が、中信1位の松本市立梓川中学校に終盤リードを許しながらも、しつこいレシーブからの粘り強いプレーで大逆転。3位を確保しました。

一方、女子決勝戦は北信地区1位で2年振り7回目の全国優勝を目指す長野市立裾花中学校と、22年振りに決勝戦に駒を進め、4回目の優勝を目指す東信地区1位の上田市立塩田中学校の対戦となりました。

両チームとも、レセプションやディグから速いテンポで攻め返す、同タイプ同士の戦いでした。序盤は、塩田中のエース：金田・高野の活躍で競っていましたが、セッター：山岸を中心に伝統的なコンビバレーを展開する裾花中が徐々に塩田中を圧倒。10点で先取しました。2セット目も、エース：西原・近藤がサイドからの強打を相手コートに叩き込み、15点で塩田中を退けて11年連続27回目の優勝を決めました。



決勝戦を振り返って裾花中の今井監督は、「課題をもって試合をすることが出来ていた。ただ、ディグからの攻め返しの精度をもっと上げていきたい。」と北信越大会、全国大会を見据えていました。

尚、北信越大会順位決定戦は、南信地区1位の茅野市立長峰中学校と、東信地区3位の佐久市立臼田中学校の対戦となりました。1セット目は、山田のサーブなど北信越出場を決めて勢いに乗る臼田中が、相手を9点に押さえ込んで一方的に先取しました。2セット目に入ると一転、太田のストレートスパイクが有効に決まるなどして、終盤まで長峰中がリード。しかし、繋ぎのミスなどから21点で臼田中が追いつくと、その流れを渡すことなくそのまま逆転。22点で長峰中を退けて3位となりました。

北信越大会は8月2日（水）・3日（木）・4日（金）、長野県松本市総合体育館で開催されます。地元開催ということもあって男女各4チームが出場しますが、全国大会への出場権を1つでも多く獲得できますよう、出場チームの健闘をお祈り致します。

ファミリーマートカップ第37回全日本バレーボール小学生大会 長野県大会

小布施スポ少が男女アベック優勝！ 混合は松本コンサルヴァが優勝！

【総務副委員長 木下久資】

7月2日（日）、ファミリーマートカップ第37回全日本バレーボール小学生大会の長野県予選が松本市で開催されました。男子・女子、そして混合の部で、全国大会への出場権をかけて全31チームが熱戦を繰り広げました。

男女の部は、共に3月に行われた長野米カップ（小学生大会の新人戦に相当）の優勝チームである小布施スポーツ少年団がアベック優勝。両チーム共、失セット0でトーナメントの頂点に駆け上がり、全国大会への出場権を獲得しました。

そして、男子と女子とが混ざってチームを構成する混合の部は、女子チームを母体とする松本コンサルヴァが3チームによるリーグ戦を圧倒的な強さで制し、混合としては初めての全国大会出場を決めました。

以下、全国大会に出場することとなった各チーム代表者のコメントです。

「第37回ファミリーマートカップ県大会を終えて」

【小布施スポーツ少年団男子コーチ 新井洋孝】

小布施スポーツ少年団男子は7年ぶり16回目の優勝を男女アベックで飾り、全国大会への切符を手にすることができました。

私自身、今年の4月から小布施スポーツ少年団に指導者として携わっておりますが、私が小学生の時に小布施スポーツ少年団で果たすことが出来なかった全国大会という大きな舞台でプレーするという目標を選手たちが、後輩たちが成し遂げてくれたことをとても嬉しく思います。

また、私のバレーボール人生の原点となる小布施スポーツ少年団に指導者として戻ってきて携われたことに感謝し、小布施スポーツ少年団に、そしてバレーボールを教えて下さった恩師たちに恩返ししていこうと思います。



県大会を振り返り、優勝を目標にチーム結成以来、日頃から練習を積んできました。しかし、小学生のチームで一番怖いことは精神的に崩れることです、身長が低くて優れた攻撃力を持った選手もいないチームが勝つには、集中力とレシーブ力、サーブ力、そして一番は失敗が少なく崩れないチームになることが目標でした。県大会で対戦したチームは、どこも攻撃力もあっていいチームでした。そういうチームに勝てたことは子供たちの自信になったと思います。今後おごることなく、目標の個人技術がチーム力になるよう頑張っていきたいです。

全国大会では、6年生を中心に武器であるサーブと粘り強いレシーブで一戦必勝！ 頂点を目指して戦い抜きたいと思います。選手・保護者・指導者で一丸となり長野県の代表として大会に挑みますので応援宜しくお願い致します。

「第37回ファミリーマートカップ小学生全国大会長野県大会を終えて」

【小布施スポーツ少年団女子コーチ 土屋正史】

6年連続22回目の優勝、そして10年振りに男女アベック優勝をし、全国大会への切符を手に入れました。

北信大会以降、サーブとサーブカットを見直して練習してきました。チームの状態も、この県大会直前になるにつれて、調子が上がってきていました。

初戦より連続失点も多少ありましたが、大崩れすることなく、試合をするにつれ調子を上げていくことができました。総合体育館に移動してからの辰野クラブとの試合では、スパイクミスが続いてしまい、苦しい展開となりましたが、持ち味である攻めるサーブで得点を重ねることが出来ました。



決勝戦の相手は、同支部でブロック大会・北信大会と対戦している戸狩 JVC でした。序盤から苦しい試合展開となりましたが、ここ勝負所で粘りのレシーブからリズムをつくり、攻撃的なサーブとスパイクで攻めることが出来ました。コートの中で、選手個々のやるべき役割がしっかりと出来ていたことがよかったと思います。

昨年の11月よりこのチームがスタートし、この県大会での優勝を目標に練習を重ねてきました。なかなかチーム内での意識が高まらず、不安もありましたが、今までの練習や遠征での成果が少しずつ現れ、この県大会で結果を出すことが出来ました。

これから全国大会に向けて、この県大会での優勝に満足せず、長野県代表として昨年の悔しい思いをしたベスト8の壁を破り、さらに上位進出を目指して選手・保護者・指導者が一致団結をして頑張りたいと思います。

この県大会開催において、当日までの準備から運営等をしていただいた大会役員の皆様、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

「初めて混合チームで参加するファミリーマートカップ」

【松本コンセルヴァ監督 高山武史】



元々は女子チームとして活動してきましたが、なかなか人が集まらず、兄弟関係男子も参加させ活動する中、昨年春5年生男子3人が入団し、混合チームとして活動を開始しました。県内では混合チームの知名度も低く、県大会参加も3チームのみでしたが、1試合目の「茅野クラブ」に2-0(21-2・21-0)で勝利。続く2試合目も「わくわくエース南箕輪」に2-0(21-1・21-10)で勝利し、全国大会の切符を手に入れることが出来ました。

全国大会で他県の強豪チームとも戦えるように、県大会までは長野県チーム、富山県の女子チーム、石川県の男子チームとも練習試合をさせ頂き、子供たちに経験を積ませることが出来ました。

全国大会では、支えてくれた関係者に感謝し、最終日の東京体育館でプレー出来るよう戦い抜きたいと思います。

Nagano Volleyball Progress Plan 2017

第2回講習会「小学生指導者による講習会」を開催

【県協会強化委員 唐沢浩一】

7月29日(土)、長野市立篠ノ井西中学校において第2回講習会「小学生指導者による講習会」を開催しました。本講習会は、中学生になってからバレーボールを始めた選手の指導に携わる指導者と、指導経験の浅い指導者を対象に、毎年、夏休みに入ったこの時期に実施しています。



今回は、小学生バレーボール連盟から高相一夫氏(長野県小学生バレーボール連盟指導普及委員長)、松嶋博氏(小布施スポーツ少年団監督)、土屋正史氏(小布施スポーツ少年団コーチ)の3名を講師にお迎えし行われました。

講習は、小布施スポーツ少年団の女子選手をモデルとして、松嶋監督にその練習の目的やポイントを説明して頂いた後、実際に指導者がそれぞれのチームの選手にボールを出す方式で行われました。

受講した30名の指導者は、松嶋監督の話に熱心に耳を傾け、メモを取ったり、撮影したりしていました。また、実際に体験した男女約200名の中学生選手たちも、それぞれのチームの指導者が出すボールを懸命に追いかけていました。

ご多用の中、又、小布施スポーツ少年団が出場する全国大会が間近に迫る中、講師をお務め頂きました松嶋監督始め3名の先生方、選手の皆さん、会場の設営をして頂きました篠ノ井西中学校の先生方、男女バレーボール部員の皆さん、おかげ様で大変充実した講習会ができました。本当にありがとうございました。



7月 試合結果

- ◇ 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会長野県ラウンド
<http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.7.2tennohai.pdf>

- ◇ 第37回全日本バレーボール小学生大会県予選会
<http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.7.2syogakusei.pdf>

- ◇ 全日本ビーチバレージュニア男子
- ◇ ビーチバレージャパン女子ジュニア大会県予選会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.7.2beach_junior.pdf

- ◇ 第38回北信越国民体育大会（ビーチの部）
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.6.4kokutai_beach.pdf

- ◇ 第40回北信越ママさんバレーボール大会
<http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.7.8mamasan.pdf>

- ◇ 第16回全国社会人東ブロック男女優勝大会長野県予選会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.7.9syakaijin_east.pdf

- ◇ 第47回全日本中学校選手権大会長野県予選会
<http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.7.15zentyu.pdf>

- ◇ 第67回中部日本6人制バレーボール総合男女選手権大会
<http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.7.15tyubunihon.pdf>

- ◇ 全日本9人制バレーボール実業団男女選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.7.21_9jitsu.pdf

8月 スケジュール

1.	8/2（水）～4（金）	第38回北信越中学校総合競技大会バレーボール競技	（松本市）
2.	8/2（水）～5（土）	第48回全国ママさんバレーボール大会	（岩手県）
3.	〃	第44回全国高校定時制・通信制大会	（神奈川県）
4.	8/4（金）～6（日）	第37回全日本9人制クラブカップ男子選手権大会	（大阪府）
5.	8/4（金）～7（月）	第16回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会	（大阪府）
6.	8/5（土）	第20回全国ヤングクラブ男女優勝大会長野県予選会	（岡谷市）
7.	8/7（月）～10（木）	第37回全日本バレーボール小学生大会	（東京都他）
8.	8/8（火）～10（木）	第29回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会	（神奈川県）
9.	8/10（木）	第38回北信越国民体育大会監督会議	（長野市）
10.	8/10（木）～13（日）	第37回全日本6人制クラブカップ男子選手権大会	（和歌山県）
11.	〃	ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会	（愛媛県）
12.	8/11（金）～13（日）	第37回全日本6人制クラブカップ女子選手権大会	（福岡県）
13.	〃	第31回ビーチバレージャパン	（神奈川県）
14.	8/13（日）～14（月）	第8回全国中学生ビーチバレー大会	（神奈川県）
15.	8/17（木）～20（日）	第28回全日本ビーチバレー女子選手権大会	（大阪府）
16.	8/18（金）～19（土）	第52回全国専門高等学校体育大会	（東京都）
17.	8/22（火）～25（金）	第47回全日本中学校バレーボール選手権大会	（宮崎県）
18.	8/25（金）～27（日）	第38回北信越国民体育大会バレーボール競技（インドア）	（福井県）
19.	8/26（土）～27（日）	JOC第31回全国都道府県対抗中学大会長野県男女最終選考会	（安曇野市他）